

西岡見聞録

9月の西岡公園見どころは!?

季節は夏から秋へと移り変わり、木々は紅葉し、植物は実を付け始めます。生き物たちも秋の準備に入りますが、まだまだ昆虫たちは元気です。アカトンボと呼ばれるアカネ属のトンボが、雲一つなく澄み渡る空を飛び交い、湿地では大型種のルリボシヤンマがホバリングしている様子に出会えるかもしれません。そして木道からはオオアワダチソウやハンゴンソウ、足元にはミソソバやアキノウナギツカミ、アカバナなど薄桃色の花が群生しています。散策路ではキク科の植物が多く、アキノキリンソウやエゾノコンギク、エゾゴマナ、ヤマハハコなどが見られます。

秋の深まりを感じつつ、西岡公園を散策してみませんか？

【西岡公園で9月に見られる野鳥たち】

(日本野鳥の会 2016.9.4 札幌支部 HPより)

- ・オシドリ
- ・アカゲラ
- ・ゴジュウカラ
- ・マガモ
- ・ハシボソガラス
- ・キバシリ
- ・シマアジ
- ・ハシフトガラス
- ・キビタキ
- ・カイツブリ
- ・ハシフトガラ
- ・オオルリ
- ・キジバト
- ・ヤマガラ
- ・キセキレイ
- ・ハリオアマツバメ
- ・ヒガラ
- ・オオタカ
- ・ヒヨドリ
- ・コゲラ
- ・メジロ

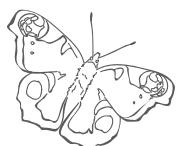
短い翅はこの部分です。



【ミカドフキバッタ】
夏から秋にかけて成虫になる
飛べないバッタ。
翅が短い体型。

【エゾトリカフト】

日本三大有毒植物の
1つで、全草が毒です。
鳥帽子に似た紫色の
花のようなものは
がく片で、
花は見えません。



【クジャクチョウ】
鳥などの外敵から身を守る
ため表に目玉模様があり、
裏は樹皮のような地味な
模様で擬態します。

自由広場では、
11月上旬まで
黄色の翅の美しい
【キトンボ】が
見られます。



【サラシナショウマ】

夏の終わりに咲く花で、
小さく白い花が弓なりに付きます。

散策をされる際には
スズメバチやマダニに
ご注意ください。

水源池

取水塔

パーゴラ 広場

花木 広場

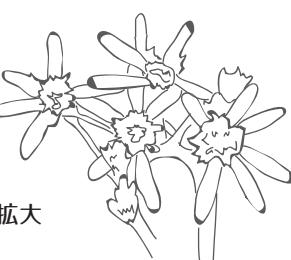
管理事務所



【ギンリョウソウモドキ】
8~10月に開花することから
「アキノギンリョウソウ」
とも呼ばれる。

全体的に白色で花は1つだけ、
花が終わると首を持ち上げ
果実を上向きにつける。

いち早く
ツタウルシやヤマウルシが
紅葉し始めます。



【ハンゴンソウ】

漢字では「反魂草」
下に垂れた葉が揺れると
まるで人を手招きしている
ように見え、それが魂を
呼び戻すと言わされた事から
名が付いた。

